

高校生と考える これからの社会像

会場： 豊中高等学校能勢分校

第1回

12/7(月)

①13:10~14:00 ②14:10~15:10
能勢版シュタットベルケ、
脱炭素社会



川又 孝太郎氏

環境省環境再生・資源循環局参事官

▼講師紹介

東京大学大学院土木工学修士課程修了後、環境省入庁。気候変動、持続可能な開発など地球環境に関わる役職を歴任。2015年から3年間にわたって在ドイツ連邦共和国日本国大使館参事官として日独環境省間の低炭素技術協力の共同声明で合意された日独自体連携プロジェクトなどを担当。

第2回

12/9(水)

13:10~15:00
コロナ禍におけるサラヤ
の役割と環境保全



小辻 昌平氏

サラヤ(株)コンプライアンス推進室課長

▼講師紹介

大学で微生物化学を専攻、卒業後食品メーカーで商品開発を担当した後、衆議院議員の公設秘書を経て、1998年サラヤ株式会社入社。主に総務部門に従事し、2010年CSR推進部発足時から同部へ。現コンプライアンス推進室課長。世界の「衛生・環境・健康」の向上のため社会貢献活動を推進。

第3回

12/21(月)

10:35~12:25
ポストコロナ社会と
「地域」



千葉 知世氏

大阪府立大学人間社会システム科学研究科准教授

▼講師紹介

兵庫県猪名川町出身。京都大学総合人間学部で環境経済学・環境政策論を学んだ後、京都大学大学院地球環境学堂にて環境政策・ガバナンス論を専攻。ラピュタの島と呼ばれる友ヶ島を拠点に、大阪湾の海洋ごみ問題に取り組む。小泉環境相主催「コロナ後の日本の未来と希望を考える会」メンバー。

第4回

R3.2/8(月)

13:10~15:00
SDGsカードゲームから考
える地球の未来



藤田 美保氏

箕面こどもの森学園校長

▼講師紹介

認定NPO法人コクレオの森理事。箕面こどもの森学園校長。小学校教諭を経て大学院に進学し、市民による学校づくりを目指す。2004年に「わくわく子ども学校」(現:箕面こどもの森学園)常勤スタッフとなり、2009年から現職。2030 SDGs公認ファシリテーター。カードゲームを用いて楽しみながらSDGsの本質を伝える。

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、社会システムは、まさに再編の最中にあります。予測不能な時代をいかに切り拓いていくのか。本講座では、将来の進路を選択する段階にある高校生たちが、実社会における課題を学びながらこれからの社会像や持続可能性について考えます。地域の皆さんもどうぞお気軽にご参加ください！



新型コロナウイルス感染症対策のため、予告なく講座を中止、また入場を制限する場合があります。

申込み・問合せ

各回、講座の3日前までに参加の申し込みをお願いします。

能勢町役場 総務課政策推進係 TEL 072-734-3036

E-mail seisaku@town.nose.osaka.jp

豊中高等学校能勢分校 TEL 072-737-0666